

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	泉北ニュータウン居住魅力向上事業			事業番号	016-003
担当部署名	泉北ニューデザイン推進室	局	泉北ニューデザイン推進室	部	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ~Attractive~	施策	(5) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	④持続可能なまちをめざしたICTや社会資本の活用			
		有・無	指標名	泉北ニュータウン全人口に対する39歳以下の人口割合				
		有	現状値	29.5%(2025年推計値)	目標値	30.5%(2025年度)		
2	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑭住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3	
		有	取組	堺グランドデザイン2040に基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進				
		有・無	指標名	—				
		無	現状値	—				
3	関連計画	泉北ニュータウン再生指針（本市策定）、泉ヶ丘駅前地域活性化ビジョン（泉北ニュータウン再生府市等連携協議会策定）、泉北ニュータウン公的賃貸住宅再生計画（同協議会策定）						
4	事業開始年度	平成 22 年度		点検年度	令和 7 年度			
5	実施根拠 (根拠法令、条例等)							

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	泉北ニュータウンに関わる市民、自治会、NPO、事業者、教育機関など（約12万人）
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	泉北ニュータウンの居住魅力の向上を図るとともに、泉北ニュータウンの魅力を広く発信することで、泉北ニュータウンに住んでみたい若年層を中心とした人を増やしていく。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>①泉北ニュータウンプロモーション及びリモートワーク促進支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年層をターゲットにしたデザイン性の高いWEBサイト「PORTAL SENBOKU」による継続的な情報発信を実施。 ・リモートワーク支援の創出支援を行う。 <p>②旧高倉台西小学校の活用の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年4月に第1期工事部分となる大阪健康福祉短期大学を開学することができた。 ・第2期工事の学校実習施設の整備について事業者との検討を進めていく。 <p>③旧泉北すえむら資料館の活用の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館・カフェ・キャンプサイト・BBQ等 <p>④泉北をつむぐまちとわたしプロジェクト等、市民活動を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泉北ニュータウンの魅力を住民自らが発見し、泉北ニュータウン内外に発信する企画を支援する。
9	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	WEBサイト作成支援業者、施設維持管理業者等
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績		目標	目標
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度
11 39歳以下人口比率（各年12月末） （社会情勢から減少は避けられないが、推計値より減少を抑える）	%	目標値	34	34	30.5	30.5
		実績値	32	31		
		達成率	94%	91%		
当該指標を選定した理由	泉北ニュータウン外への転出超過が39歳以下の世代で顕著に表れているため					
目標値の設定根拠・算出方法	39歳以下の人口比率は年々減少し、2025年の推計は29.5%になることが見込まれ、1%上回る30.5%を目標とする。					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績		目標	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
12 「PORTAL SENBOKU」サイト閲覧延べ数（PV数）	PV	目標値	20,000	40,000	80,000	
		実績値	29,065	57,008		
		達成率	145%	143%		
当該指標を選定した理由	若年層をターゲットとした泉北の情報発信に特化したホームページであり、PV数を目標とすることで若年層の泉北への関心度を把握することができるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	これまでのPV数の傾向及び新コンテンツ増設等、発信情報の拡充を図るため。					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	泉北ニュータウン居住魅力向上事業	事業番号	016-003
-------	------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト		(単位：千円)				
項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	決算	決算	予算	決算	予算	
13 事業費 (a)	16,830	38,242	14,658	19,202	16,576	
13 財 源 内 訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（繰入金、公園占用料）			2,500	0	2,614
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	16,830	38,242	12,158	19,202	13,962	
14 人件費 (b)	24,600	24,300	24,600	24,600	24,600	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	41,430	62,542	39,258	43,802	41,176	

事業費の内訳		(単位：千円)							
項目	年度	事業費	うち 一般財源	項目	年度	事業費	うち 一般財源		
								R2	R3
16 事業 費 内 訳	謝礼金	R2 決算	204	204	委託料（旧泉北すえむら資料館関係）	R2 決算	0	0	
		R3 予算	232	232		R3 予算	2,000	2,000	
	費用弁償・普通旅費	R2 決算	49	49	その他委託料（若年層向け泉北ニュータウンプロモーション支援業務等）	R2 決算	4,499	4,499	
		R3 予算	282	282		R3 予算	3,957	3,957	
	消耗品費・印刷製本費	R2 決算	247	247	自動車借上料・会場等借上料	R2 決算	0	0	
		R3 予算	225	225		R3 予算	373	373	
通信運搬費・その他保険料	R2 決算	5	5	工事請負費（旧泉北すえむら資料館関係）	R2 決算	4,350	4,350		
	R3 予算	7	7		R3 予算	3,000	386		
泉北ニュータウン再生指針策定支援業務	R2 決算	0	0	負担金（旧泉北すえむら資料館関係）	R2 決算	9,848	9,848		
	R3 予算	5,500	5,500		R3 予算	1,000	1,000		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費		区分	単位	令和元年度	令和2年度
17	①	「PORTAL SENBOKU」PV数	PV	29,065	57,008
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,998	4,499
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	138	79
備考（算出についての説明等）					

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	「PORTAL SENBOKU」では、若年層をターゲットとした泉北の魅力発信をコンセプトに取り組んできた結果、対前年PV数比が大きく伸びており、効果があったものと考えている。また、泉北ニュータウン地域で様々な地域活動や魅力創出に取り組む人々の活動の支援と「PORTAL SENBOKU」との組み合わせることで、より訴求力のある情報発信ができるようになっている。
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	<p>①職住一致・近接のライフスタイルの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泉北ニュータウンでの職住一致・近接のライフスタイルを訴求するためのセミナー等の開催。 <p>②若年層向け泉北ニュータウンプロモーション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBサイト「PORTAL SENBOKU」の情報を継続的に更新し、PV数が多く伸びており、泉北への認知度の向上につながった。 <p>③旧高倉台西小学校の活用の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年4月に大阪健康福祉短期大学が開学し、学園都市の形成、若者（学生）の交流人口の増加につながった。 <p>④旧泉北すえむら資料館の活用の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者による図書館、カフェ等の運営が開始され、泉ヶ丘の魅力創出につながった。 <p>⑤泉北をつむぐまちとわたしプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泉北ニュータウンの魅力を住民自らが発見し泉北の魅力を内外に発信する活動の支援をとおり、泉北の認知度向上につながった。 <p>以上の取組は、主に若年層及び子育て世代をターゲットとし、泉北NTの魅力発信し、当該地域への関心を高め、将来の若年層の定住につながるものであることから、KPIへの貢献に資するものと考えている。</p>